

【Profile】

Band name

- unclose

Member

- Rei(零) / Vo&Ba
- Muneharu(宗晴) / Gt
- Yu-Ra / Dr&etc

Official website

- <http://uncl0se.com>

E-mail

- contact@uncl0se.com

Music video

- <https://www.youtube.com/watch?v=UjkWUb2fYal>



2014年結成。

爆音の中に鳴り響くストリングスと深いサウンドで世界観を押し出す。

他に類を見ない圧倒的なステージングは一見の価値あり。

東京を拠点としつつも国内外を問わず活動中。

2015.04 AMI422『ROCK RUSH RADIO』出演。

2015.04 音楽雑誌『WeROCK 046』付属DVDと紙面に掲載。

2015.05 フリーマガジン『Roxy Town』に掲載。

2015.10 フリーマガジン『Roxy Town』に零-R17-インタビュー記事が掲載。

2015.12 自主企画「叫命」より初音源[群青]をライブ会場限定で無料配布開始。

2016.06 1st mini album[蒼ノ唄-Ao no uta-]を発売開始。

2016.06 シンガポールの巨大フェス『Baybeats2016』に出演。

2016.11 シンガポールツアー決行。現地のBandWagon監修で2曲をスタジオ撮影。

2017.08 岩手県で行われた『KNSCフェス』に参加。日本国内フェス初参加。

2017.09 1st-Single[終熄 -syusoku-]を発売。それに伴い、初となるMVを発表。

2017.09-10 Asia Tourを敢行。6カ国にて『BeastieRock(台湾)』『ZANDARI FESTA(韓国)』へのフェス出演を含めた9公演を行う。

2018.03 韓国ツアー敢行。

2018.07 ZEPP TOKYOに出演。

2019.06 2mini best album [罪-Tsumi-]を発売。

2019.06 Singaporeで行われたDavis Guitar [ESP] 30th Anniversary Partyに出演。

2020.11 六本木音楽実験室新世界で初のワンマンライブ決行。Sold Out。

2021.09 六本木音楽実験室新世界で2ndワンマンライブ決行。

Photo



・ Rei (零) / Vo & Ba



高校よりベースを始める。

unclose結成に伴い、ベーシストから現在のVo&Baというスタイルに辿り着き、現在のuncloseの体制を作り上げる。

uncloseのLive以外のプロモーション等、外部へのアプローチの全てを担当する。

既存のVoのスタイルを打ち壊すパフォーマンスは、演劇かと思う様な表現力を持ち、夢く、時に雄雄しく見るものを魅了し、国内・海外を問わず高い評価を受ける。

シンガー・ベーシストというカテゴライズでは無く、あくまでもステージでの表現者を追及するその姿勢は見るものを巻き込む力を持ち、他が真似出来ないステージを作り上げる。

L's TRUST Custom Bass Rei original model【Meteor】を使用。

・ Muneharu (宗晴) / G †



大胆なステージングと繊細なフレーズが特徴。

L's TRUST Custom Guitar Muneharu original model【叢雲】を使用。

Verocity Effects Pedalsを核としたエフェクトボードを使用。

・ Yu-Ra / D r & etc



感情を叩きつけるかのようなドラミングが特徴。

全ての作詞作曲、ストリングスアレンジを担当。

TRX Cymbalsとエンドースメント契約。

Tech-Rider

持ち込み機材		
Bass Vocal	Guitar	Drum
<ul style="list-style-type: none"> ・ベースワイヤレス (LINE6 RELAY G30) ・ヘッドセットワイヤレス (SHURE SM35)※マイク ・ベースアンプヘッド (ALBIT B-200) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーアンプ (FRYETTE PS-2) ・ギタースピーカーキャビネット(ORANGE PPC412) ・ギターワイヤレス (LINE6 RELAY G30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スネア ・ペダル ・シンバル(TRX Cymbals)
Band	※アンプ持ち込み不可の場合、レンタルアンプにて対応可能。	
<ul style="list-style-type: none"> ・オーディオインターフェース(Focusrite Scarlett 18i20) ・Macbook pro ・イヤモニ受信機3台 (SHURE P3R JB) ・イヤモニ送信機2台(SHURE PSM300) 	※フルセットからシンバルのみまで対応可能。	

レンタル機材一覧	備考
Bass Speaker Cabinet	300w 4Ωのベースヘッドアンプが接続可能なモデル
D.I×3	Vo(モノラル)×1,同期音源(ステレオ)×2
台	ドラム横に同期コントローラーが置ければなんでも可

